

令和3年度 金沢市民生委員児童委員協議会  
地区民児協 会長研修会 2022.2.22

## 野々市市民児協の試み タブレット端末を用いた 民生委員・児童委員活動のICT化

野々市市民生委員児童委員協議会  
会長 東 伸明

### 内 容

- 1.はじめに（自己紹介、市民児協紹介）
- 2.タブレット端末導入のきっかけ
- 3.導入の進め方
- 4.現在の活用状況
- 5.今後の活用計画
- 6.まとめ

# 自己紹介

野々市市民児協 会長 東 伸明 (72歳)

1977.3 日本大学大学院 獣医学研究科 修了

1977.4 金沢医科大学助手 (医学部:解剖学講座)

2001.12 民生委員児童委員委嘱 (51歳)

2007.12 石川郡野々市町民児協 理事

2011.11 野々市市民児協 副会長、郷地区民児協 会長

2016.3 金沢医科大学定年 (65歳)

2016.4 金沢医科大学 名誉教授 嘴託教授 (現在に至る)

2019.12 野々市市民児協 会長 (7期目) (現在に至る)

## 野々市市民生委員児童委員協議会の紹介

### ・野々市市

人口:53,817人、世帯数:24,762世帯、

高齢化率:19.88%

### ・野々市市民児協:99名(主任児童委員10名含)

男性:35名、女性:64名、

平均年齢:63.9歳 (2019改選時)

### 4つの法定単位民児協

・本町地区民児協:30名(3名)

・富奥地区民児協:35名(3名)

・郷 地区民児協:16名(2名)

・押野地区民児協:18名(2名)



野々市市公式キャラクター  
「のっティ」



# タブレット端末 導入のきっかけ

## タブレット端末導入のきっかけ 1

2019年12月、新たな任期を迎えるにあたり、以前より計画していた事務処理の効率化（ペーパーレス化）、委員の情報共有と就労民生委員（働きながら活動する委員）の増加に伴う、支援と環境整備のためタブレット導入を考え、最終的に民生委員のなり手不足解消の一助となればと考えていました。

また、本事業の財源として、地域共生社会の実現に向けて、厚労省が2020年から2025年に全国展開するとしているところから、この関連でタブレット端末の購入経費（約500万円）の予算申請ができないか、野々市市の担当課と相談していました。

## タブレット端末導入のきっかけ 2

翌2020年3月に入り、コロナ感染症拡大が深刻化する中、国における「新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金」の対象事業として、9月補正において市における「民生委員児童委員活動効率化支援事業」として要求が通り、同年10月から予算執行が可能となりました。そこで、年内稼働を目標に市民児協にWeb検討委員会を設置し、スピード感を持って準備を進めました。

一方、2020年3月より、市内にある金沢工業大学の研究室を訪ね、タブレット端末の使用目的を説明し、その活用方法についてアドバイスを受けながら準備を進めていました。

# タブレット端末 導入の進め方



タブレット端末



WiFi ルーター

## 事業の進め方と留意点

- ・目的と波及効果の説明と同意
- ・経済的個人負担の軽減
- ・誰一人見落とさないきめ細かい対応

# 委員への説明と同意

本事業は、新型コロナウイルス感染症対策の一環で  
**「民生委員児童委員活動効率化支援事業」**として行われます。

この事業を受けて、野々市市民児協は、コロナ禍、ウイズコロナの対策、さらに今後の民生委員児童委員活動を見据えてタブレット端末を導入し、以下の**目的と波及効果**を期待して実施します。

本事業推進にあたり、委員の**個人負担を極力少なく**、また、本事業を理由とする**退任者を一人も出さない**ように十分配慮して参ります。

## 目的

1. 地域の見守り体制の維持
2. Web会議の導入
3. 業務の効率化
4. 地域資源との連携

## 波及効果

1. 民生委員活動の強化
2. なり手（担い手）不足解消の一助

# 導入目的の説明 (1)

## 1. 地域の見守り体制の維持

見守り（支援）対象者とのオンライン化  
対象者への各種情報提供

## 2. Web会議の導入（各種会議のオンライン化）

会長会、役員会、定例会、各地区定例会、研修会など、  
委員間の情報共有、意見交換など  
就労民生委員（働きながら活動する委員）の環境整備

# 導入目的の説明 (2)

## 3. 業務の効率化

ペーパーレス化：レジュメ、資料の配布  
活動記録、報告書、原稿などの依頼、提出、  
緊急連絡網の迅速化

## 4. 地域資源との連携

タブレットの運用支援：金沢工業大学と連携  
社協、地域包括支援センター、事業所と連携

# 波及効果

## 1. 民生委員活動の強化

委員の情報収集と共有、意見交換の迅速化

民生委員活動全般にわたり、大きな波及効果が期待できる。

## 2. なり手（担い手）不足解消の一助

近年、就労期間（定年）の延長、年金受給の先送りなどにより、就労民生委員の増加が見られる。それら委員の積極的活用の意味から支援と環境整備が必要であり、職場や自宅から参加可能なオンライン化を進め、なり手不足解消の一助としたい。

## 個人負担の軽減（予算の概要）

### ○初期費用（2020年度のみ）

#### 【支 出】

1. タブレット本体100台（税込）	3,630,000
2. 付属品100台分（ケース、イヤホン、フィルム）（税込）	599,500
3. ポケットWifi端末100台（税込）	1,595,000
合 計	5,824,500

#### 【収 入】

1. 市民生委員児童委員活動効率化支援事業補助金	4,487,000
2. 市民生委員児童委員協議会	1,337,500
合 計	5,824,500

### ○ランニングコスト（年額）

通信費（3ギガ、858円/月、1人）100台（税込） 1,029,600 ※ 2

※1：令和3年新年研修会経費（コロナ禍で中止）を充当。

※2：事務経費効率化と国、県、市からの活動費増額分などを充当。

なお、通信費に関して、費用対効果の面から任期末に見直す。

# Web検討委員会設置 (8名)

(金沢工業大学との連携)

## きめ細かい対応

- ・機種選定 (Web検討委員会) 2020.8
- ・アプリの選定 (金沢工業大学) 2020.8
- ・初期設定 (Web検討委員会) 2020.10
- ・アプリのダウンロード (金沢工業大学) 2020.11
- ・タブレット端末配布、取扱説明会 (共同) 2020.11
- ・第一回初任者研修会開催 (約60名参加) 2020.12

## Web委員会 (15名) (金沢工業大学と連携)

Web検討委員会からWeb委員会へ移行 (2021.1-)

- ・トラブル対応 単位民児協ごとにWeb委員が対応
- ・4つのチームで活動
  1. 資料検討チーム：初任者研修動画の作成
  2. オンライン会議チーム：定例会などのライブ配信
  3. アプリ活用チーム：活動記録、報告書、原稿のオンライン化
  4. コンプライアンス検討チーム：ルールづくり

# 現在の活用状況



# 無料アプリの利用

【ZOOM】 オンライン会議（会議、研修会など）

【Google ドライブ】 ペーパーレス化（会議案内、レジュメ、資料）、活動記録のオンライン化

【LINE】 緊急連絡網（全員、単位民児協別、個人）会議のURL配信

【結ネット】 ローカル情報、定例会案内、会議出欠  
(厚労省、野々市市、全国民児連、市社協とリンク)

【YouTube】 動画（研修会）

【BAND】 定例会など会議案内、会議出欠

【Safari】 各機関へのリンク

## 現在の運用状況 (2021.10)

- Web会議導入

2020.4~6:役員会、定例会休止、

2020.12~:中止会議なく、定例会、研修会の開催

- 事務の効率化

通知又は通達文、会議案内、レジュメ、資料などの配信によるペーパーレス化

- 情報共有

LINEのグループ化（各委員会、市民児協、単位民児協）  
LINEによる緊急連絡網

守秘義務に関する個人情報は、基本的に取り扱わない

# 今後の活用計画

## 今後の活用法

- ・定例会配信：働きながらできる活動（Zoom, YouTube）
- ・民児協初任者研修用動画作成：YouTubeで配信
- ・活動記録提出：オンライン化（ソフト作成含）
- ・見守り活動のオンライン化
- ・各種委員会のLINEグループ化
- ・未習熟者への対応
- ・民生委員の自宅のWiFi環境整備
- ・無料アプリの活用：防災アプリ、翻訳アプリなど
- ・セキュリティー強化（対象者の個人情報など）

# まとめ

民生委員・児童委員のなり手（担い手）確保のために  
やりがいのある民生委員児童委員活動への支援  
《地域の把握 地域の信頼関係の構築（再任率の増加）》

1. 初任者研修の徹底：民生委員活動の早期理解
2. 活動の効率化：活動記録提出など事務処理の効率化
3. 就労民生委員の環境整備：民児協側と雇用者側
4. 民生委員の若返り：50歳代から参加できる活動の環境整備
5. その他：活動の阻害要因の軽減

タブレット導入は、目的でなく手段の一つであり、上記問題の改善を図り、  
民生委員・児童委員活動の強化と なり手（担い手）確保の一助になると期待  
しています。

先進事例から学ぼう！

民生委員・児童委員活動環境改善オンライン実践報告会

～民児協・委員活動における“ICT活用”

／野々市市民生委員児童委員協議会（石川県）～

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会主催

先進事例から学ぼう！

民生委員・児童委員活動オンライン実践報告会

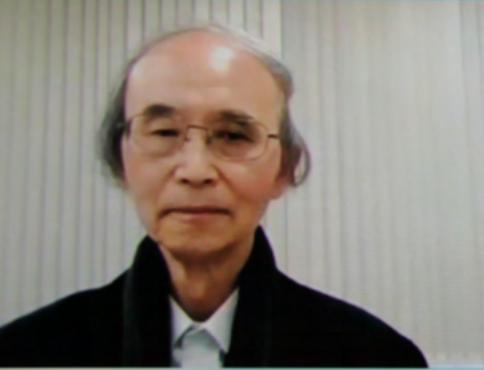
～民児協・委員活動における“ICT活用”～

野々市市民生委員児童委員協議会 会長 東 伸明 氏



一步先行く民生委員・児童委員活動シンポジウム

大阪府民生委員児童委員協議会連合会



〈パネリスト〉

神戸市 向洋地区  
民生委員児童委員協議会  
会長 福本 耕司氏

〈コーディネーター〉

同志社大学 名誉教授  
上野谷 加代子氏

〈パネリスト〉

石川県 野々市市  
民生委員児童委員協議会  
会長 東 伸明氏

# 厚生労働大臣表彰

## 野々市市民生委員児童委員協議会

令和3年11月19日



ご静聴有難うございました。